

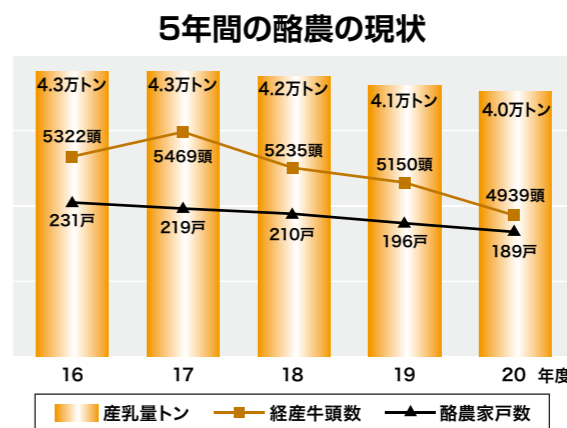


柴田 勇雄 議員

問 持続可能な酪農経営が図られる施策は
答 新たな支援事業等で農家支援を

議員 現在の酪農情勢は乳価の10円引き上げがあったものの、これまでの未払い金に回り、依然として厳しいままです。

- 次の5点について伺います。
- ① 過去5年間の農家戸数、経産牛頭数、産乳量の推移は。
 - ② 配合飼料、農業資材高騰下での酪農経営の現状認識は。
 - ③ 経営担い手の現状と支援策は。
 - ④ 酪農家負債の現状と支援策は。
 - ⑤ 国の追加経済支援対策（酪農関連対策）の活用方策と経営能力の育成指導は。



経営や時間的なゆとりが持続可能な必要条件です。

- ④ 負債は増えていると聞いています。20年度から農業資材、飼料価格高騰緊急対策資金を新岩手農協が創設し、町が21年度から利子補給をしています。
- ⑤ 畜産経営強化緊急支援事業で機

械をリースで導入した場合3分の1を国が支援するもので、もうひとつは畜産経営維持緊急支援資金で25年償還で据置5年、利率は1.8割、当初2年間は無利子という内容です。

これらについては、農協と連携し支援していきます。

問 災害発生・停電時の情報伝達は大丈夫か

議員 8月9日午後7時30分から8時30分過ぎまで、392戸が停電となり地区住民は不安を感じました。

有事に即時性の高い情報システムづくりが必要でないか。

答 停電時の対応を含め町防災計画を見直す

町長 情報基盤整備では、いつでも、どこでも、だれでも情報を受

けられる環境の構築（町内47拠点に屋外告知端末を設置し、さらにはテレビを活用したデータ放送サービス）の提供、携帯電話のメール機能）をしてきましたが、これらの情報伝達手段は電源供給により稼働する機器類が中心であるため、停電の規模、場所、範囲等の状況にもよりますが、使用できなくなる場合が想定されます。

岩手郡町村議会議員大会を葛巻で開催

- 1 国道の拡幅改良整備の促進
 - 2 県道及び主要地方道の早期改良整備
 - 3 農業の振興対策の推進
 - 4 林業の振興対策の推進
 - 5 医療保険制度の改善
- ほか4項目



酪農・林業の振興を訴える高宮委員長

大会は、角掛邦彦会長（滝沢村議会議員）のあいさつの後、望月正彦盛岡地方振興局長、工藤勝博県議会議員ほかの来賓祝辞に引き続き、議長団を選出し、議事では郡内町村が抱える9項目の課題に係る要望事項を審議し、満場一致で採択しました。

また、林業振興については、間伐材の放置や伐採跡地の荒廃が見られていることから間伐材の有効利用や再造林の推進を訴えました。

議員大会

第56回岩手郡町村議会議員大会（岩手郡町村議会議員大会主催）は8月6日、郡内議会議員68人が参加し、土谷川のくずまき高原牧場もく・木ドームで開催しました。

郡内の課題解決に満場一致で取組む

大会では、3、4の内容を高宮一明議員（輝くふるさと常任委員会委員長）が提案説明し、酪農・畜産については、最近の配合飼料や原油の価格高騰による生産コストの上昇で、酪農畜産など農業全般の経営環境はこれまでにない危

- ① 配合飼料の価格安定対策強化
- ② 牛乳の販売価格値上げに対する消費者理解に向けた取り組み
- ③ 自給飼料増産のための基盤強化対策

このことから次の事項を強く訴えました。

基調講演

水で読む中国・黄河5400キロの取材から

大会終了後、朝日新聞編集委員で、テレビ朝日「報道ステーション」前コメンテーターの加藤千洋氏の基調講演がありました。

講演中、葛巻の新エネルギーに対する取り組みを番組の中で知り、その取り組みは先駆的であり、大変評価されていることも話されました。



環境問題を熱く語る加藤千洋氏

町民の皆さんにも聴講を呼びかけた結果、約40人の参加をいただきました。